

平成 27 年度 学術・学会に関する特別委員会事業報告

1. 活動テーマ

日本公衆衛生看護学会への企画委員及び実行委員としての参画と全国保健師長会の企画提案

2. 目的

地域保健で働く保健師が調査研究や活動のまとめを報告する場所を確保し、公衆衛生看護の専門職として自己研鑽や資質向上を図る。

3. 実施状況

回	時 期	場 所	内 容
1	5月30日(土)	杉並区杉並保健所	【第1回委員会】 ・委員会活動方針の検討及び委員会活動内容とタイムスケジュールの検討
2	7月4日(土)	聖路加国際大学	・第4回日本公衆衛生看護学会学術集会 第2回学会企画委員会に参画 ・第4回日本公衆衛生看護学会内容の決定 ・運営についての役割分担の検討
3	7月11日(土)	杉並区杉並保健所	【第2回委員会】 ・第4回日本公衆衛生看護学会で実施する全国保健師長会特別企画の検討 ・第5回日本公衆衛生看護学会の進捗状況の確認
4	8月22日(土)	東北大学 医学部保健学科	・第5回日本公衆衛生看護学会学術集会 第1回企画委員会に参画 ・メインテーマ、今後のスケジュールと役割分担等の検討
5	10月18日(日)	聖路加国際大学	・第4回日本公衆衛生看護学会学術集会 第3回学会企画委員会に参画 ・第4回日本公衆衛生看護学会内容の運営についての役割分担の確認
6	12月12日(土)	杉並区杉並保健所	【第3回委員会】 ・全国保健師長会特別企画の運営についての検討 ・第5回日本公衆衛生看護学会の進捗状況の確認
7	1月22日(金)	一橋大学 一橋講堂	【第4回委員会】 ・第4回日本公衆衛生看護学会学術集会説明会に出席 ・全国保健師長会特別企画の事前確認
8	1月24日(日)	一橋大学 一橋講堂	【第5回委員会】 ・第4回日本公衆衛生看護学会学術集会で全国保健師長会特別企画「地区担当制と保健師活動～保健師が地域に責任をもつとは～」を実施
9	2月14日(日)	東北大学 医学部保健学科	・第5回日本公衆衛生看護学会学術集会 第2回企画委員会に参画 ・学術集会の内容やスケジュール等の検討

4. 結果・課題

- ・委員会が発足して2年目になり委員会の運営方法が見えてきた。
- ・委員は当年度と次年度の日本公衆衛生看護学会学術集会の開催地から選出される。そのため委員の任期は2年だが、委員会を構成するメンバーは単年度である。効果的に役割を引き継ぐことが課題である
- ・第4回日本公衆衛生看護学会学術集会及び第5回日本公衆衛生看護学会学術集会に、委員が企画委員として分かれて参加している。経過を踏まえた意見反映ができるよう委員会を活用している。
- ・第4回日本公衆衛生看護学会で、全国保健師長会特別企画（第1回）「地区担当制と保健師活動～保健師が地域に責任をもつとは～」を開催できた。企画は好評で、全国保健師長会の取り組みとして継続していく。

5. 支部活動の報告

- ・委員の任期は2年だが、学術集会の開催地から選出される委員で委員会を構成するため、同じメンバーでの委員会は1年間という特徴がある。

6. 委員

- 小林 啓子 東京都西多摩保健所
- 大屋 成子 杉並区保健福祉部杉並保健所
- 浜野 芳江 横須賀市こども育成部こども育成総務課
- 遠藤 三恵 宮城県保健福祉部健康推進課
- 伊藤 榮千子 仙台市宮城野区保健福祉センター